



学校だより

みどりの

学ぶ当事者 支える当事者 緑野小学校

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和5年11月1日

秋晴れの運動会

校長 遠藤 昌司

空を覆っていた雲も少しずつ薄れていき、秋晴れの下、先月には運動会を無事に実施することができました。工事の関係で種目の制約がありましたが、子ども達の笑顔や頑張る姿をたくさん見ることができました。当日は、観覧マナーへご理解いただき、保護者入替に伴う校内への出入りも円滑に進みました。警備のスタッフなどはない学校行事において、頼りになるのは保護者の皆さんの善意や譲り合いです。ご協力いただいたこと、感謝いたします。

令和5年度 全国学力・学習調査から

4月に、文部科学省による「令和5年度 全国学力・学習状況調査」が6年生を対象に実施され、個人の結果は児童を通して近日配付の予定です。調査結果概況（国語、算数）と回答結果集計（児童質問紙）をもとに、緑野小学校の傾向についての分析をお知らせいたします。（○：結果が良好 ●課題あり）

【国語】

- 文章の種類とその特徴について理解している 【言葉の特徴や使い方に関する事項】
- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う 【言葉の特徴や使い方に関する事項】
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する 【読むこと】
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する 【書くこと】

⇒全体の正答率は県・国の平均値を上回っている。学習指導要領の内容別に見ても平均値を上回っている中、「思考力、判断力、表現力等」のうちの「書くこと」について、県・国よりも僅かに低い数値が出ている（問題番号1二）。問題文に対しての「無解答率」は県・国の平均値より低い（＝諦めずに解答した）が、「日常よく使われる敬語」についての設問（問題番号3三）では、無解答率がほかに比べ高い。

【算数】

- 正方形の意味や性質について理解している 【図形】
- 伴って変わる二つの数量について、変化の特徴を表から求める 【変化と関係】
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係ではないことを表から説明する 【変化と関係】
- 三角形の底辺と面積の関係をもとに、面積の大小についての理由を記述する 【図形】

⇒全体の正答率は県・国の平均値を上回っている。学習指導要領の領域ごとの正答率も同様であるが、「データの活用」（問題番号4(4)）のみ僅かながら下回っている。「算数の勉強は大切」、「算数の勉強が好き」との回答は県・国の平均値よりも高い（児童質問紙より）。

【児童質問紙回答からみた、県・国の傾向との比較】

毎日しっかり朝食をとっているが、就寝・起床時刻が一定ではない。教師が良いところを認めてくれると感じ、自分と違う意見について考えることを好んでいる。授業以外の勉強は自分で計画して進めるより塾等によるところが多く、進んだ内容も学んでいる。読書は好きで、普段の読書時間や学校・地域の図書館等に通うことも多い。毎日ではないが新聞も読んでいる。5年生までICT機器を多く使用してきているが、あまり勉強の役に立たないとの回答もある。外国のことを知りたいという思いが強く、英語が好き・大切だと考えており、職業につなげたいと希望している。地域や社会のために何かしてみたいという意識も高い。